

水系1液型アクリル樹脂塗料
水系 **ボウシン** テックス
#300



- 簡単！水系1液型
- 骨材既調合
- 水系で低臭気
- 艶消し

地球にやさしく アウトドア環境を創る

モルタル・コンクリートはもちろん、アスファルト面もブリードすることなく、簡単かつ安全に塗装できます。また従来の同タイプの水系塗料が持つ優れた耐摩耗性・耐候性・付着性や防滑効果に、透湿性を付加。テニスコートやプールサイドにも適しています。



特長・用途

特長



ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 骨材既調合で防滑仕上げ
- 2 アスファルト床にも使用できる
- 3 1液型水分散タイプで火災や溶剤中毒の危険性がない
- 4 経済的で取り扱いが簡単、屋内・屋外に使用できる

用途

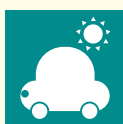
- 1 コンクリート・アスファルト面の駐車場、遊歩道、公園の床
- 2 テニスコート・プールサイド
- 3 耐摩耗性、歩行感を要求される歩行専用通路



テニスコート・プールサイド



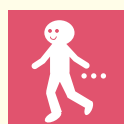
遊歩道・広場・サイクル道路



屋外パーキング



屋内パーキング



歩行者専用道路



階段・廊下

性能・荷姿

| 性能 | | |
|--------------------|---|---------------------|
| 試験項目 | 試験方法 | 結果 |
| 鏡面光沢度 | JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付500μm,60度 | 2±1 |
| 引っかかり硬度 (鉛筆法) | JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷 | 2B |
| 耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法) | JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2, 1000回転 | 75±10 |
| 耐水性 | JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき | 異常なし |
| 耐アルカリ性 | JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48h浸せき | 異常なし |
| 耐酸性 | JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48h浸せき | 白化 |
| 耐温水性 | 50℃温水に48h浸せき | 白化 |
| ホルムアルデヒド 放散量 | JIS K 5970 デシケート法 | 0.12mg/L以下 F☆☆☆☆ |

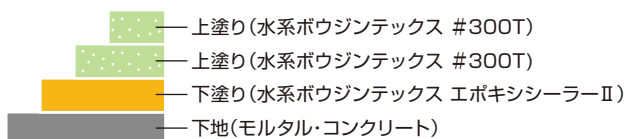
荷姿

| 上塗り材 | |
|-------------------------|---|
| 水系ポウジンテックス #300T | 20kg |
| 中塗り材 | |
| 水系ポウジンテックス #300N | 20kg |
| 下塗り材 | |
| 水系ポウジンテックス シーラー | 15kg・4kg |
| 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡ | 14kgセット(主剤7kg/硬化剤7kg) 4kgセット(主剤2kg/硬化剤2kg) |
| ポウジンテックス 強化シーラー | 16kg・4kg |
| 希釈剤 | |
| ポウジンテックス #5000Uシンナー | 16L・4L (強化シーラー用) |

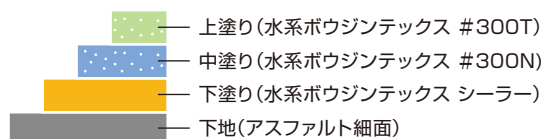
MIZUKEI BOUJINTEX #300

塗装工程

モルタル・コンクリートの場合



アスファルトの場合



※アスファルト粗面の場合は、中塗りを2回塗装してください。

塗装仕様

■モルタル・コンクリートの場合

| 工 程 | 使用塗料 | 希釈率 | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗面積 (㎡/缶セット) | 可使時間 (23℃) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|--|----------------|---------------|------------|-----------------|-------------------|---------------|-----------|---------------|-------------------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水 分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナッ クス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・ 泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。 | | | | | | | | | |
| 下 塗 り | 水系ボウジンテックス エポキシシーラーⅡ 主剤 7kg 硬化剤 7kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 1 (~2) | 0.12~0.16 | 88~117 (44~58) | 1h以内 | —— | 4h以上 48h以内 | —— |
| 上 塗 り | 水系ボウジンテックス #300T 20kg | 5~15% (希釈水) | リシンガン ローラー | 2 | 0.30~0.40 | 25~33 | —— | 2h以上 | —— | 16h以上 完全硬化2日以上 |

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。 ※施工気温が10℃以下の場合、乾燥不良を起こすことがありますので施工を避けてください。

■モルタル・コンクリートの場合 (溶剤系を使用できる場合)

| 工 程 | 使用塗料 | 希釈率 | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗面積 (㎡/缶セット) | 可使時間 (23℃) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|--|--------------------|---------------|------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------|---------------|-------------------|
| | | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水 分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリッシャーまたはライナッ クス等で下塗りが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・ 泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等は下塗り工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。 | | | | | | | | | |
| 下 塗 り | ボウジンテックス 強化シーラー 16kg | 0~10% #5000Uシナー | ハケ ローラー | 1 | 0.12~0.16 | 100~133 | —— | —— | 5h以上 24h以内 | —— |
| 上 塗 り | 水系ボウジンテックス #300T 20kg | 5~15% (希釈水) | リシンガン ローラー | 2 | 0.30~0.40 | 25~33 | —— | 2h以上 | —— | 16h以上 完全硬化2日以上 |

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。 ※施工気温が10℃以下の場合、乾燥不良を起こすことがありますので施工を避けてください。

■アスファルトの場合 (細面の場合)

| 工 程 | 使用塗料 | 希釈率 | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗面積 (㎡/缶セット) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|--|----------------|---------------|------------|-----------------|-----------------|-----------|------|-------------------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新設の場合は2週間以上期間を取り、表層の油分をなくす。 転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける) アスファルトのくぼみにたまった土砂を取り除くため、デッキブラシを併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する) 水洗後、自然乾燥する。 | | | | | | | | |
| 下 塗 り | 水系ボウジンテックス シーラー 15kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 1 | 0.20~0.30 | 50~75 | —— | 2h以上 | —— |
| 中 塗 り | 水系ボウジンテックス #300N 20kg | 1~3% (希釈水) | レーキ ローラー併用 | 1 | 0.60~1.00 | 20~33 | —— | 2h以上 | —— |
| 上 塗 り | 水系ボウジンテックス #300T 20kg | 5~15% (希釈水) | リシンガン ローラー | 1 | 0.30~0.40 | 50~67 | —— | —— | 16h以上 完全硬化2日以上 |

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

■アスファルトの場合 (粗面の場合)

| 工 程 | 使用塗料 | 希釈率 | 塗装方法 | 塗回数 (回) | 塗付量 (kg/㎡/回) | 塗面積 (㎡/缶セット) | 塗装間隔(23℃) | | |
|-------|--|----------------|---------------|------------|-----------------|-----------------|-----------|------|-------------------|
| | | | | | | | 工程内 | 工程間 | 歩行可能 |
| 素地調整 | 新設の場合は2週間以上期間を取り、表層の油分をなくす。 転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける) アスファルトのくぼみにたまった土砂を取り除くため、デッキブラシを併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する) 水洗後、自然乾燥する。 | | | | | | | | |
| 下 塗 り | 水系ボウジンテックス シーラー 15kg | 無希釈 | ハケ ローラー | 1 | 0.30~0.40 | 38~50 | —— | 2h以上 | —— |
| 中塗り-1 | 水系ボウジンテックス #300N 20kg | 1~3% (希釈水) | レーキ | 1 | 0.60~1.20 | 16.7~33 | 2h以上 | —— | —— |
| 中塗り-2 | 水系ボウジンテックス #300N 20kg | 1~3% (希釈水) | レーキ ローラー併用 | 1 | 0.40~0.60 | 33~50 | —— | 2h以上 | —— |
| 上 塗 り | 水系ボウジンテックス #300T 20kg | 5~15% (希釈水) | リシンガン ローラー | 1 | 0.30~0.40 | 50~67 | —— | —— | 16h以上 完全硬化2日以上 |

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

注 意 事 項

仕 様 全 般

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良を起こすことがありますので、施工を避けてください。
2. 下塗りの塗付量が下限値以下の場合は剥離の可能性があります。
3. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
4. 塗装中に開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
5. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
6. 排水溝には捨てないでください。
7. 静電気をきらう床には塗装しないでください。
8. 施工時および施工終了後において、充分な換気を行ってください。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
10. 塗装による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 水系ポウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)
2. 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使時間内に手際よく塗装してください。
3. 使用前には充分攪拌してください。
4. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
5. ポウジンテックス 強化シーラーを炎天下で塗装すると層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
6. 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調割合で混合し、マゼル等で充分攪拌してください。
7. 2液型塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
8. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
9. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
10. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
11. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
12. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
13. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
14. 材料の保管、取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

カラーサンプル



No.308 ワカサ



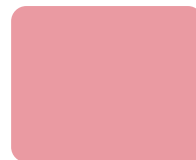
No.307 ファイングリーン



No.306 ニューグリーン



No.304 イエロー



No.318 ピンク



No.316 ブラウン



No.319 オレンジ



No.315 ベージュ



No.312 シルバーグレー



No.303 ライトブルー

注) この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。



水谷ペイント株式会社

LINE公式
アカウント開設!
ID: @521kgmun



水谷HPIは
こちら↓



本 社 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

大阪支店 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

西日本開発部 ☎ 532-0006 大阪市淀川区西三国4-3-90

東京支店 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル

東日本開発部 ☎ 101-0032 東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル

北関東支店 ☎ 348-0038 埼玉県羽生市小松台2-705-22

中部支店 ☎ 486-0815 愛知県春日井市十三塚町3-6

広島支店 ☎ 734-0022 広島市南区東雲1-13-16

福岡支店 ☎ 811-2304 福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1

仙台営業所 ☎ 984-0042 仙台市若林区大和町1-22-36

札幌営業所 ☎ 007-0850 札幌市東区北50条東2-3-12

工 場 本 社・埼玉・中部・広島・福岡

☎ (06) 6391-3151
FAX (06) 6393-1101

☎ (06) 6391-3401
FAX (06) 6391-3456

☎ (06) 6391-3401
FAX (06) 6391-3456

☎ (03) 3865-8177
FAX (03) 3865-8760

☎ (03) 3865-8177
FAX (03) 3865-8760

☎ (048) 563-0355
FAX (048) 563-5124

☎ (0568) 85-3551
FAX (0568) 85-3556

☎ (082) 284-6556
FAX (082) 283-0017

☎ (092) 611-5731
FAX (092) 621-2301

☎ (022) 782-6770
FAX (022) 232-6871

☎ (011) 702-5556
FAX (011) 702-5557

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2512050225389